

実践編

実践編Ⅰ | 子育てにあたり
まず実践しましょう。

実践編Ⅱ | 子どもの発達に応じて
実践しましょう。

実践編Ⅲ | 子どもの状況を見ながら
さらに実践しましょう。

1 親の生き方を示す……実践例①

(なぜ?) なぜ親の生き方を示すことが大切なのでしょう。

(それは) 親の価値観や生き方が、子どもの人生を左右します。

まず親自身が、社会的にも認められる一貫した価値観や生き方を、子どもに示すことが大切です。子どものお手本になります。

- 親の生き方や価値観が子どもに大きく影響します。特に判断力が十分でない乳幼児期の子どもにとって、親はなくてはならない存在であり、大きな影響があります。
- 判断力が育っていく小学生の時期は、親の価値観や生き方が自然に子どもの発達に影響しています。親の一貫した価値観を大切にする姿勢が子どもに響きます。
- 子どもは、「親の言うことは聞かなくても、親のすることはする」といわれています。言葉で語ることも大事ですが、親の正しい生き方を示すことで子どもは学んでいきます。
- 価値観が一貫していれば、子どもからどのようなことを聞かれようと、答えは変わらないし、子どもが迷うようなこともありません。
- 子どもが思春期になったら、自分の失敗談なども聞かせ、子どもを安心させましょう。



(どのように) どのように親の生き方を示したらよいのでしょうか。

(それは) 人間は、一人一人がそれぞれの人生の意味や価値をつくるすばらしい存在であることを、子どもに伝えましょう。

子どもに「あなたは、世界でたったひとりの、かけがえのない存在なんだ」ということを、常に言葉や態度で示し、自分は愛されていると感じさせてあげてください。「自分を大切にする」という感情が、他人を大切にすることもであり、健全な発達の基礎になります。

良心に従い、よりよい社会のために努力する生き方を示しましょう。

親としては、良心に従い、よりよい社会をつくるため、目標を持って努力する「生き方」をすることが大切です。子どもは、最も身近にある手本から学んでいきます。

うまくいかないことがあっても、思いやりと感謝の心で努力する親の姿勢は、子どもに伝わり、よりよい影響を与えます。

自分の親やお年寄りから聞くなどして、親自身が、我が国や郷土の古からの文化伝統を我が子に伝えていく姿勢を示しましょう。親の姿勢が、国や郷土の文化伝統の継承発展につながります。



2 夫婦で話し合い、支え協力し合う……実践例②

(1) 周産期のお母さんと話し合い、支え協力し合う

(なぜ?) なぜ支え協力し合うことが大切なのでしょうか。

(それは) 精神的なサポートが、胎児を健康にはぐくみます。

周産期とは、お母さんのお産を中心とするその前後の時期をいいます。この時期は、お母さんが精神的に不安定になりやすい場合があります。お母さんをサポートし、二人で出産に備えるという気持ちが大切です。

- 支え、協力し合うことによって、お母さんは安定した精神状態の中、充実した気持ちで、子どもを健やかに産み育てることができます。
- 市町などが実施する父親教室などに参加し、赤ちゃんの抱き方、お風呂の入れ方、授乳の仕方などあらかじめ学習することも大切です。
- 炊事・洗濯・掃除などの家事は、分担して行いましょう。お母さんの負担が軽くなるだけでなく、お父さん自身の生活力が向上します。



(どのように) どのように支え協力し合ったらよいのでしょうか。

(それは) 大切なことは、夫婦のコミュニケーションを続けることです。

- お母さんと一緒になって、育児の勉強をしましょう。
- お母さんと子どもの将来を語り合いましょう。
- 「母子健康手帳」を見ながら、お母さんの悩み事や心配事に耳を傾け、一緒になって考えましょう。
- 専門的な内容については、かかりつけのお医者さんか、市町の母子保健担当課や県健康福祉センターなどに相談しましょう。

(相談先) 市役所や役場に聞いて電話番号を書いておきましょう。

もよりの市町の児童福祉担当

() —()—()

地域子育て支援センター

() —()—()

かかりつけの病院

() —()—()



2 夫婦で話し合い、支え協力し合う……実践例②

(2) 誕生後も夫婦で話し合い、協力し合う

(なぜ?) なぜ夫婦で話し合い、協力し合うことが大切なのでしょう。

(それは) 夫婦で話し合い、協力し合うことが子どもを健全にはぐくみます。


- 子育てに不安や負担を感じているお母さんと話し合い、協力していこうという態度は、お母さんの情緒的安定へとつながり、安定したお母さんのもとで、子どもは健やかに成長します。
- 夫婦で協力し合う態度がないと、お母さんは不安から子どもをでき愛したり、子どもに否定的になったりすることがあります。
- 話し合い、協力し合うことによって、お父さんに、今までにない体験や感動があり、お父さん自身の成長につながります。



(どのように) どのように協力し合ったらよいのでしょうか。

(それは) 大切なことは、夫婦のコミュニケーションを持ち続けることです。

- 子育てへの思いを共有することが、夫婦の豊かなコミュニケーションを生みだします。
- 養育の悩みが深刻化することで児童虐待等の問題につながる心配があります。そのため、お父さんとお母さんが悩みを共有し、一緒になって考えましょう。
- 積極的に子育てしましょう。
- 参観会やPTA活動・地域の活動などに参加し、子どもの姿を夫婦の話題にしましょう。
- 心身の発達の遅れ・ADHD（注意欠陥／多動性障害）・いじめ・不登校・引きこもり・家庭内暴力などが見られる子どもなど、専門的な対応が必要な問題については、子どもの姿をよく夫婦で話し合い、園や学校の先生・ハートケア相談員・ハロー電話相談・児童相談所などに相談しましょう。



様々な理由で一人親となる家庭も増えていきます。子どものことで心配なことは、気軽に地域子育て支援センターや地域の児童委員、民生委員などに相談しましょう。



ある日の夕食

駿、
今度の参観日は
いつなの

えっ！
何？……
わあ！

1



何だね？

4



子どもの就寝後

ご飯の時の
態度でう思った

最近、テレビを
見ながら食事はするし、
駿のことで気になることが
あるんだけど……

3



そうか、何か原因があるの
かな？ 僕も先輩たちに
聞いてみるよ。
あせらい……

6



あのね、今の流行だと思っけど、
「つぎ」とか言葉づかいも変で、
美味までマネをするし……
くらゐ注意しても
直らないのよ。

それに担任の先生から
連絡をいただいたんだけど学校で
忘れ物が続いているらしいのよ。

5